

第 20 回 BC 州日本語弁論大会  
2008年3月1日(土)  
優秀作品集

BC 州日本語弁論大会実行委員会

この作品集は、参加者の原稿を元に BC 州日本語弁論大会実行委員会が編集したものである。

## 第 20 回 B C 州日本語弁論大会

日時：2008年3月1日 土曜日 午前10時00分

場所：UBC アジアセンター、オーディトリウム

コーディネーター：Rebecca Chau (UBC/ブリティッシュコロンビア大学)

Noriko Omae (SFU/サイモンフレーザー大学)

司会者：Morgan Barnes(UBC)

SoonKee Kwon(UBC)

Yvonne Kong(UBC)

審査員：Scott Aalgaard (Global Partners Institute)

Tomoko Ujie Bailey (JALTA)

Choji Hayashi (Langara College)

Ihhwa Kim (UBC)

Takashi Kuriyama (Konwakai)

Sumiko Nishizawa (Kwantlen University College)

Hiroko Noro (University of Victoria)

Sharalyn Orbaugh (UBC)

Catherine Yamamoto (Riverside Secondary)

Matthew Yoshitake (Kiyukai)

Seiichi Otsuka (Consul General of Japan in Vancouver)

出場者：

### 【高校 初級】

- |                   |                                      |
|-------------------|--------------------------------------|
| 1. Tibby Chen     | 私のいぬのボギー My Dog Bogie                |
| 2. Christine Jeon | 私たちが生きるいみ Our purpose of Living      |
| 3. Andrea Kim     | パパの白髪 Dad's White Hair               |
| 4. Mokhan Kim     | カンボジアでならったこと Lesson from Cambodia    |
| 5. Erin Nam       | 両親のそばから脱出！ Run Away from My Parents! |
| 6. SooJi So       | とくべつなひ A Special Day                 |

### 【高校 中級】

- |             |  |
|-------------|--|
| 1. Jini Heo | ことなるぶんか Different Cultures                                 |
| 2. Jeff Oh  | 200 kmきょりが私に教えてくれたこと Lesson That I Have Learned from 200Km |

- |                  |                              |
|------------------|------------------------------|
| 3. Whitney Quong | 母との絆 The Bond with My Mother |
| 4. Zoey Situ     | 夢 Dream                      |
| 5. Sunny Wong    | 夢をつかむまで To Seize a Dream     |

【高校 オープン】

- |                    |   |
|--------------------|---|
| 1. Misato Hamanaka | 日本語が私にくれたもの What the Japanese Language Gave Me                              |
| 2. Vivian He       | 一期一会 Once-in-a lifetime Chance  |
| 3. YeeSoo Kim      | 七年前の私に映った日本語と言う言葉 My Reflection of the Language Called Japanese 7 Years Ago |

【大学・一般 初級】

- |                     |   |
|---------------------|---|
| 1. AhYoung Chang    | かぞくをほうもんする Visiting One's Family                                      |
| 2. Sabrina Cheng    | コミックと漫画 Comic and Manga   |
| 3. Jee Yee Choi     | 日本文化の流入 The Inflow of Japanese Culture                                |
| 4. JooHi Kim        | 私の最初のアルバイト My First Part-time Work Experience                         |
| 5. Joyce Lai        | 私が経験した日本人の優しさ The Kindness of Japanese People That I have Experienced |
| 6. Jin Lee          | 韓国の夜の文化 Korean Night Life   |
| 7. Sophia Park      | 今、すべき事 Things We Ought to Do Now                                      |
| 8. Agustina Santoso | ある寝られない夜の出来事 A Sleepness Night  |

【大学・一般 中級】

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| 1. Stephanie Ching    | マクドナルドから見る国際化 Seeing Internationalization through McDonald's |
| 2. Claire HeeJae Chun | 世界のものの見方 A Way to See Things in the World                    |
| 3. SeHee Ham          | 忘れられない贈り物 An Unforgettable Present                           |
| 4. Lily Lin           | すきな日本語 My Love for the Japanese Language                     |
| 5. Phillip Ma         | 怖がらないで Don't be Afraid                                       |
| 6. Miriam Matejova    | 祖父の言葉 Grandfather's Words                                    |
| 7. Sophia Wang        | 旅の間のつぶやき Mumbling During the Trip                            |

【大学・一般 上級】

- |                      |   |
|----------------------|---|
| 1. Anne KyeYoung Lee | 信 Credibility                                 |
| 2. Esther Lee        | 感謝できる者は幸せさ！ The Key to Happiness Lies in You! |

3. Kate KyungMin Lee 急成長！ オタク産業 Rapidly Growing Otaku Industry  
 4. Kelly Liang ニート ～批判より尊重を～NEET～What is Necessary is Respect～  
 5. Drew Wallin 日本文化の多様性 Japanese Cultural Diversity

【大学・一般 オープン】(該当者なし)

## 入賞者

### 【高校部門】

#### 初級部門

第1位	Mokhan Kim	「カンボジアでならったこと」
第2位	SoonJi So	「とくべつなひ」
第3位	Christine Jeon	「私たちが生きるいみ」
特別賞	Andrea Kim	「パパの白髪」

#### 中級

第1位	Jeff Oh	「200km きよりが私に教えてくれたこと」
第2位	Zoey Situ	「夢」
第3位	Sunny Wong	「夢をつかむまで」
特別賞	Whitney Quong	「母との絆」

#### オープン

第1位	Misato Hamanaka	「日本語が私にくれたもの」
第2位	Vivian He	「一期一会」
第3位	YeeSoo Kim	「七年前の私に映った日本語と言う言葉」

### 【大学・一般部門】

#### 初級

第1位	Sophia So Eyun Park	「今、すべき事」
第2位	Joyce Lai	「私が経験した日本人の優しさ」
第3位	Jin Lee	「韓国の夜の文化」
特別賞	Agustina Santoso	「ある寝られない夜の出来事」

#### 中級

第1位	Claire Hee-Jae Chun	「世界のことの見方」
第2位	SeHee Ham	「忘れられない贈り物」
第3位	Miriam Matejova	「祖父の言葉」
特別賞	Phillip Ma	「怖がらないで」

#### 上級

第1位	Kate Kyungmin Lee	「急成長！オタク産業」
第2位	Drew Wallin	「日本文化の多様性」
第3位	Kelly Liang	「ニート～批判より尊重を～」

カンボジアで ならったこと

Mokhan Kim

きょねんのなつ ぼくは カンボジアに いらりょうほうしに いきました。ぼくは しょうらい いしゃに なりたいので、いい けいけんに なると おもったからです。はじめは こうきしんで いっぱいでしたが、いざとなると こわくなりました。ぼくが しているカンボジアと いうのは むかし みた せんそうえいがしか なかったからです。しゅっぱつまえに よぼうちゅうしゃを うけました。びょういんで ぼくがする しごとや カンボジアの せいかつに ついてならいました。せいかつ かんきょうが よくないので みずや たべものに きを つけるように いわれました。

カンボジアに いくと、そこは おもったより ひどい じょうたいでした。びょういんは とても きたなくて いやな においが しました。いらりょうどうぐも ほとんど ないのに、かんじゃは ほんとうに いっぱいで れつを ならんでいました。まちは ほこりと ごみだらけで くうきも にごっていました。まちの こどもたちが とても かわいそうでした。ぼくは ごぜん8じから ごご 6じまではたらきました。かんじゃの せいり、つうやく そして あとかたつけを しました。ほんとうに カンボジアは あつくて じつと していても からだじゅう あせだくだくになりました。たっていると くらくらしてはきげが しました。おふろが できないので からだが かゆく とても つらかったです。ぼくは はやく うちに かえて、あつい シャワーを あびて つめたい ジュースを のんでから クーラーの きいている へやで ひるねを したいと おもいました。そのとき、ふと ぼくは カンボジアの ひとに もうしわけない きが しました。カナダや かんこくで あたりまえに していたことが そこでは ちがいました。まいにち まいにち たべたいものをたべて すきなことを しても、ときどき ふまんを いていた じぶんが はずかしく になりました。じぶんのことも ちゃんと できない ぼくに なんの ほうしが できるだろうかと おもいました。

カンボジアの ほうしは いっしゅうかんの みじかい じかんでしたが、ぼくは いろいろな ことを ならいました。しょうらい ほんとうの いしゃに なって、また カンボジアに いきたいと おもいます。

とくべつなひ

SoonJi So

きょうは つくえのまえで じぶんの いちにちを えがいてみました。  
きょうも きのうち あまり かわらない たいくつな いちにちです。  
たまに みらいに たいする しんぼいと いきぐるしい ところが わたしを  
くるしめますが わたしは しんぱいしません。  
なぜなら わたしには かならずしたい ゆめが あるからです。  
そして わたしには いちにち いちにちを ゆめみられる じかんが あるからです。  
ひとは いつも わたしの ゆめを といました。  
そのときに わたしは 「 まだ よくわかりません 」とこたえました。  
その ときは なんらの ゆめもない わたしが なさけなかつたし いつも  
ゆめをきく ひとたちも いやでした。

ゆめ。。。 それは わたしに なんだろう？

いしゃ、べんごし、せんせい、あるいは ビジネスウーマン？  
かならず したいことがなかったです。

わたしは ひとが すきです。  
いろいろな ひとに あって かれらと はなすのが すきです。  
そして ほかの くにの げんごを 学ぶのが 大好きです。  
いろいろな しゃかいへの こうきしんが つよくて しゃかいと れきしが すきです。

あるひ わたしは テレビで ある かんこくじんの じよせいの がいこうかんが が  
いこうかつどうを することを みました。  
いよいよ 探しました わたしの ゆめを。。！

ひとびとに あえて ぶんかを こうりゆうする ひと、がいこうかん。。。  
それが わたしが いっしょう したいしごとです。

それで わたしは もっと おおいことをまなぶため、カナダに ひとりで  
インターナショナル ステューデントとして きました。

たまに かぞくに とても あいたいですが わたしは かなしくないです。  
なぜなら わたしには ゆめが あって、 その ゆめに むかって がんばることが  
できる じかんが あるからです。

いま わたしは ひとびとの まえで わたしの ゆめを いうことができます。  
わたしの ゆめは がいこうかんで、いろいろな くにに 行って おおくの ひとびとを  
たすけることだと。。。

私たちが 生きるいみ

Christine Jeon

あなたにとって、人生とは 何ですか。もし、人生にもくひょうというものが なかったら、どんなにつまらないものかとおもいませんか。中学生までは、私にとって、じんせいのもくひょうは、りょうしんのあいじょうをうけることでした。

私の姉は はじめての子どもだからと、りょうしんのあいを たくさんうけてそだちました。おとうとは、はじめての男の子だからと、りょうしんの あいじょうを いっしんに うけてそだちました。でも、私は 二ばんめの子だから 「おまけ」という あいじょうを うけて そだちました。それは たとえるなら サンドイッチに はさまった レタスのようなものです。とくにたいせつじゃないし、はさまって よく 見えないのです。だから、そんな 私は ぜんりよくを つくして りょうしんの あいじょうを うけようと思いました。それが私の おさないころの もくひょうでした。いみもなく 姉と けんかを したこともありましたが、姉は あたまがよく 五つもの じゅくに かよっていました。それに くらべて私は 学校でも じゅくでも トラブルメーカーでした。なぜなら もんだいをおこすことで りょうしんの あいじょうを うけることができる おもったからです。それなのに りょうしんは 姉の 学校の めんせつに いそがしくて 一ども 私の 学校には かおをだしては くれませんでした。おとうとをからかったり、いじめたりもしましたが、おとなしいおとうとが かわいそうになり、じぶんも かなしくなりました。どうして いいか わからなくなりました。そんなある日、姉が ぜんきょうかの せいせきひょうを もって 家にかえて来ました。そのときの、りょうしんの よろこんだ かおをみて、私も 姉のように りょうしんに よろこんでもらいたいとおもいました。それからの 私は べんきょうに うちこみました。そして、九年生のころから ぜんきょうか を とるようになりました。私は やつとりょうしんの えがおを見ることのできるようになったのです。りょうしんが、私をみとめ、だんだん おうえんしてくれるようになりました。

だれも すべてをもって 生まれてはきません。私が まんなかの子であるために、いつも りょうしんやまわりのはんのうを みながらいきてきて、そして、じぶんの そんざいをみとめてもらおう、りょうしんの あいを えようと ひっしになったように、ひとびとはみんな、なにかをえたいとおもい どりよくし つづけているのだとおもいます。

もくひょうをたっせいしたときに ひとびとはみんな しあわせと よろこびをかんじます。わたしは それが 生きるいみであり じんせいだとおもいます。いま、私の もくひょうは がんばって 大学に 行くことです。そして、ハンサムな人と けっこんして、しあわせになることです。



200km のきょりが私に教えてくれた事

Jeff Oh

私には忘れることができない経験がたくさんあります。この大切な経験が今の私を作りました。この大切な経験の中で私に一番大きい影響を与えたことについて話そうと思います。

2000年一月一日、私が九歳で小学校二年生の時二十一世紀をいわって韓国の島、チェジュドを一周しました。チェジュドは一周が200kmあります。その200km両親がいない人と、海軍のひと、ボランティアのひとが体の不自由な人を助けながら八日間毎日朝九時から六時まで歩かなければいけませんでした。おさない私には200kmがどのくらい長いのかも知らなかったし一人で知らないひとと旅をすることを考えるだけで嬉しくてこうふんしていました。

しかし、そのこうふんはすぐになくなりました。最初の日はとても寒かったし、濟州島は韓国のおきなわと言われる景色が良い所なのですが、とても疲れていたの歩くことしか考えられませんでした。二日目は疲れてしまって不平をいうこともどのくらい歩かなければならないのか考えることもやめて一番嬉しいご飯の時間を待ちながら歩きました。三日目は朝ごはんのあと歩き始めてすぐに気がついたら私は車の中でよこになっていました。とても疲れてたおれてしまったのです。かんごしに休みなさいと言われましたが、「体が不自由な人も歩きつづけているのに私だけ休むことはできません」と言っていることを覚えています。

この経験をした後、「こんなに難しいことができたのだから、できないことは何もない」と、思いました。この考え方は私の留学生活に特に役に立ちました。英語ができなくてくるしかった時も、両親に会いたくてホームシックになった時も2000年の1月に私ができたことを考えながらあきらめないで勇気を持ってがんばりました。私は日本の大学で勉強したいと思っています。もちろん日本の大学に行く前にも行った後にも大変なことがあるとおもいますがいつもくるしい時には私が2000年に何ができたのかを考えて頑張ります。

夢

Zoey Situ

私は九歳から、夢は色々な国で 不幸な子供に 英語と数学と歴史を教える先生に 成ることでした。

三歳のとき、かぞくはふるくてせまいアパートにすんでいました。そして、最も基本的な必需品を買うお金が あるだけでした。りょうしんは子供の時、二人とも貧しい家で育ちました。父の方は、農家で、いなかに 住んでいました。母の家族は ていしょとくの教師のかていででした。でも、父と母は、いつもがんばり、今の生活を手に入れました。父は、よく子供のころ、じゅうぶんな 食べ物や教育が うけられなかった事を 私に話してくれました。あまりにも 何回も それを聞かされたので、私は、ぎゃくに 興味を失いました。

九歳のある日、テレビで 世界の悲惨な子供についてのぼんぐみを 見ました。まず、お母さんとむすめの二人家族が、はいきぶつしよりじょうに 住んでいる話がありました。ほかにも、子供だけの五人家族は、毎日、年長の男の子が、山へ食べ物を 探しにでかけ、幸運だと、家族のために、1匹か2匹のネズミを 見つけて、それを分けあって食べていると言っていました。でも、なかでも 最も強く私のこころを うったのは、何百もの死体が 毎日ケニアの川の下流に 流れている映像でした。そこでは、小さい子供たちが じゅうを持ち、殺しあっているのです。私は、無表情なその子供たちに 凍りつきました。そこで始めて、私が、どれくらい幸運であるかに気付きました。

教育が人の未来と人生を決定するのに、いかに重要であるかと言うことを徐々に理解してきました。もし ちしきが少しでも有ったら、そんなところから「にげよう」とかんがえるでしょう。子供は、体の健康が 大切であるだけでなく、教育を受けることにより、自分で その貧しい状況から 脱出することができるのです。だから私は、教師に成って、貧しい国の子供を教育のちからで 助けたい と強く思うのです。

夢をつかむまで

Sunny Wong

すべての人が 自分の夢のパイオニアなのです。私の父は 子供の時、マレーシアのいなかでそだちました。十二人兄弟のすえっこで、ほかのまずしい人たちのように、ひんこんが、父を早くせいじゅくさせました。小学校を卒業したあと、のうじょうの働き手になるのが、祖父母の願いでした。しかし、父は、ほかの兄弟とちがった夢をもつようになりまして 医者になりたいと思ったのです。村の病院は 川のむこうにあり、みんなは病気になった時、いつもいたみをしんぼうしました。父もいびょうになやみましたが、とくにお兄さんがじこで、けがをして、治療がおくれ 足をせつだんしなければならなくなったことが、父に大いなるけついをさせることになりました。

祖父母のきもちとことなり、父は一生懸命勉強しつづけました。自分の出生をえらぶことはできませんが、父は父自身の未来を、自分の手で つくろうとしました。18 歳の時に、兄弟やおじさんやせいざいしょでのアルバイトからえたお金で こうくうけんをかって、台湾に留学しました。マレーシアをさる時、祖父は、留学にはんたいし、父のあいさつに へんじもしなかったそうです。

中国人と言っても マレーシア生まれの父にとって、まず中国語を勉強するのが大変だったそうです。それに台湾に知りあいもなく、わずかなおじさんのサポートとアルバイトで 一人でがんばったのです。7年の強いしんねんとにんたいで、父はねんがんの医者になりました。

夢へのあくなきつきゅうは、ついにうんめいをかえたのです。今、父は祖父母のほこりとなりました。

私の未来も 私自身の手のにぎられているはずです。高校最後のこの1年、私は今、人生のターニングポイントをむかえています。幸運なことに、私の両親は、私になにもおしつけず自由な意志を尊重してくれます。「手をぬかず努力しつづけてください。そうすれば、インチーがなりたいものになることができるはずです」と、父は私を勇気づけてくれます。将来、通訳になりたい私ですが、父のように、目標をたっせいするまで あきらめないで ひたすら努力します。そして、私の夢のパイオニアに 絶対になります。

## 日本語が私にくれたもの

Misato Hamanaka

四年前のある日、私に一通の手紙が届きました。それは、生まれてまだ数回しか行ったことのない祖父母が住む大阪からの手紙でした。差出人の彩奈という名前に記憶がなかった私は、恐る恐る封筒を開けてみると、中にはその子の写真と日本語で書いてあるかわいらしい手紙が入っていました。実は、彩奈ちゃんは私が小学三年生の時に一日だけ体験入学した小学校の生徒だったのです。突然の出来事でびっくりしましたが、その手紙がきっかけで、私たちは文通を始めることになりました。月に一回程度の手紙のやり取りですが、学校の文化祭や部活での出来事、テストの結果など、何でも話せる友達になりました。彩奈ちゃんは時に、私の間違っている日本語を直してくれました。また、反対に、彼女が英語で書いてくる手紙を添削して返すこともありました。高校の国際科に通っている彩奈ちゃんは、将来外国に留学できるように、現在一所懸命英語を勉強しているからです。そんな中、私が三年前に大阪の祖父母の家を訪ねた時に、六年ぶりの再会を果たしました。色々な思い出話をして、さらに友情が深まりました。現在も彼女との文通は続いています。

しかし、考えてみると、もし私がカナダで日本語を学んでいなかったら、彩奈ちゃんのような大切な友達に出会えなかったと思います。私が英語しか話せなかったら、彩奈ちゃんとまったく会話ができませんからです。このように、私は日本語を知っていることで、たくさんのものを得ました。彩奈ちゃんと同じように、おじいちゃんやおばあちゃん、おじさんやおばさん、そして年下のいとことも何でも会話ができて、とてもうれしく思います。

その他にも、日本語が私にくれたものがたくさんあります。その一つは、カナダの学校での友達です。前はほとんど話さなかった女の子とも、日本語の宿題で分からないところを手伝ったことがきっかけで大の仲良しになりました。その女の子は中国人ですが、日本のことに興味があり、いつも日本のドラマや音楽のことなどで話が盛り上がります。また、先日、私の高校に日本の福岡から六十五名の高校生が修学旅行に来ました。その時も私は通訳をしながら学校を案内することができ、たくさんの学生と交流することができました。反対に、私が将来日本に行ったとしても、日本語を話せることで人との会話ができて、就職もできるかもしれません。

さらに、日本語は私に日本を理解する多くの機会を与えてくれました。日本の武道である剣道を練習する中、英語では表現するのが難しい武道の心や技を、日本語で細かく指導を受けることができるからです。また、日本から来られる世界レベルの剣道指導者の方々から直接指導を受けることも出来ました。そして、その中で、礼儀を重んじる日本の風俗習慣なども学ぶことができました。現在でも週に二回は必ず稽古をしています。

しかし、日本語を勉強することは簡単ではありませんでした。眠い時も、疲れている時も、

毎週かさず日本語学校に十二年間通いました。だからこそ、今の私があると思います。もし学校に通っていなかったら、私は日本語を話せない、まったくの別人になっていたかもしれません。

日本語が私にくれたもの、それは大きく広がった人生の可能性だと思います。

一期一会

Vivian He

今までの短いながら長く感じる私の17年間の人生を振り返ると、たくさんの人にめぐり遇えたことが数え切れぬほど、記憶に残っています。小さな交通事故に遭った九歳の私を病院へ運んでくれた人々の顔、道に迷って泣きそうな私を助けてくれた人々の顔…今も朦朧として頭の中で映画のように映し出されています。そして、最近この一本のフィルムに新たに加えられたエピソードがあります。この新たな出会いは私に人生についての理解をさらに深めさせ、とても貴重なエピソードとなりました。

それはある日、試験場に向かうバスの中でのことでした。地図を見ながら、試験場の位置を確認できずにあせっていた私は、絶望的な面持ちでバスの中の乗客に視線を向けました。誰かに助けてもらいたくて叫びたくなるほどでしたが…内気な私はとても人に声をかけることができず、ドキドキしながら、地図を強く握り締めていました。そのとき、「何かありましたか？」と不意に声をかけられたのです。そこには60歳前後のおじいさんがたっていました。私はまるで砂漠に唯一の井戸を見つけたような喜びで、この時の嬉しさといったらなかつたです。私はこの親切に声をかけてきてくれたおじいさんに試験場のこと、また、試験開始まであまり時間が残っていないことを話しました。すると、おじいさんがその地図を見て、場所を私に分かりやすく指でさして教えてくれました。その瞬間、私の頭に浮かび上がったひとつの熟語がありました。それは「一期一会」でした。

「一期一会」の意味は「一生に一度だけの機会」と辞書には載っていますが、この熟語についての理解はそのおじいさんとの出会いをなくしては、その意味を深めることはなかつたと私は思います。

おそらく、またそのおじいさんとは再会することはないでしょう。しかし、彼から、教えてもらったいろいろな大事なことを私は決して忘れることはありません。「一期一会」、心から全ての出会えた人達に敬意をもち、出会えた事に感謝し、大切にすることです。たとえ国が違っても、年齢が違っても、言葉が違っても、相手に暖かい気持ちを与えられるような出会いは人の一生の宝物になるのではないのでしょうか。

そして、この宝物はきっと人を輝かせるきっかけとなることを私は信じています。人生は間違いなく落ちつきのない海のように波から波へと流されてしまう時もあるでしょう。でも、私たちは決して一人ではないのです。同じ船に乗っている人がいて、また、すれ違う船もあるのです。その人達とともに運命の船の一期一会のオールを漕いで、青く果てしない海を渡っていかうではありませんか。みなさん、これから私たちが歩む道は、まだまだ長く続いています。けれど、きっと素敵な思い出になることは間違いないと私は思います。

ご清聴ありがとうございました。

七年前の私に映った日本語と言う言葉

Yeesoo Kim

七年前の私に「日本語はどんな言語だと思いますか」と聞いたら、「そうですね。すごくかわいくて、しゃべったら声がよくハイピッチになる言葉」ぐらいの返事しか出てきなかったかもしれません。その時、私はまだ韓国に住んでいましたので、遠いけどあんまり遠くない国の言葉。それが私の目に映った日本語でした。

そんな私に、ある日、学生中心に行われる旅行プログラムで、日本へ三日間泊まる予定が提案されてきました。

せつかく日本へ旅行するんだから、簡単な言葉でもチェックして行こうと決め、その時から私と新しい文化の言語との正面勝負が始まりました。

出発一週間前、私は日本で暮した事がある友だちにたすけを請いました。彼女から一番最初に習ったのは挨拶でもない、二つの単語でした。'どうぞ'と'どうも'です。二つとも相手に尊重を表す言葉だけど、友だちは特に大事だから忘れないようにと言いつけました。

実践でそれを使ってみるチャンスはすぐ日本の空港でありました。荷物を両手にたくさん持っていたあるおばさんのために門を開けながら'どうぞ'と言ったら、おばさんがほほえみながらお礼を言ってくたさったのです。

成功して、成就感が溢れてどうしようもなかった私でしたが、そのあとすぐ昼御飯の時間に自分にとって本当に恥ずかしいできごとがおきてしまいました。

すし、鮎カツ、やきそばなど、美味しい物ばかりあったおべんとうの味は、今でもしっかり覚えています。その食事の後、お片づけをする時でした。空港で日本語が通じたことで自信満々だった私はこう言いました。

「いたたきます！」

ちょっとまって。'ごちそうさま'じゃなかったけ？

私が自分のミスに気が付いたのは、それから五秒も過ぎてからでした。



旅行の時いつもともにいた日本人のボランティアのおねえちゃんがありました。日本語がほとんど理解できない私のため、私たちはずっと英語で会話をしていました。そして旅行最後の日、お姉ちゃんは日本語で書いた短い手紙を私にわたしました。もちろんその時はぜんぜん読めなかったのですが、韓国に帰ってから友だちに聞いて、ようやくその意味が分かりました。

いつか本当に日本語を習うなら、これも読めるようになるかもよ？

とても楽しかった。ありがとう。

—瞳ねえちゃんより

私は、その手紙を読んでからやっと、日本語はどんな言葉なのか分かるような気がしました。私は二年半ぐらい前から日本語を習い続けてきました。今の私に「日本語はどんな言語だと思いますか」と聞けば、私は何も答えられないかもしれません。言語とは、ただ文字を並ぶのだけでは説明できないと思います。体で直接体験してみないと遠い霧のままと同じようだからです。

そうして、7年前の私に映った、遠いけどあんまり遠くない国の日本語は、距離的にもっと遠くなったけど、今は何よりも近く感じています。

今、するべき事

Sophia Park

皆さんは韓国のドラマを見た事がありますか。韓国のドラマでは、癌になって愛する人と別れてしまう主人公の話がよくあります。そして、こい人を失ってしまった相手の男の人は、怒ったり、泣いたり、絶望したりします。私は正直、そのような物話はとても嘘みたいで、現実ではない事だと思っていました。テレビや、新聞で、毎年、たくさん人が癌で死んでいるのを知っていましたが、それは、あくまでも他人の話で、私の側にいる人には起こらない事だと思っていました。少なくとも、韓国のおばが胃癌で倒れたと言う電話が来る前までは、そう思っていました。

私のおばは、私より十歳しか年上じゃありませんでした。趣味も、好きな事も、私とよくにっていて、おばと言うより、お姉さんのような人でした。いつも元気で、明るい人だったので、そんなひどい病気になるなんて、とても信じられませんでした。今、起こっている事が実は、夢でありますようにと、何度願ったでしょう。だんだん悪くなっていると言う知らせに、絶望したり、泣いたり、どうしてあんなに優しくかったおばさんがこんな目に会わなくてはいけないのかと思って、おこったりもしました。その時、私は初めて実感しました。私がドラマの、他人の話だと思った事は、いつ、だれに起ってもおかしくない事だと。ただ統計の数字だと思ったのは、私のおばのような人の数だと言う事を。だからおばがなくなったと聞いた時、なみだが止まりませんでした。もちろん、もうおばに二度と会えない悲しみもありました。でも、おばがもう元気にはなれないと言う事はわかっていたので、心の準備はできていました。悲しみよりたえられなかったのは、むしろ後悔でした。どうしておばさんがまだ元気だった時、もっと電話したりしなかったんだろう。どうしていつもいそがしいと言う言いわけで、おばさんのメールにすぐ返事を書かなかったんだろう。そして、どうしてもっと早く気づかなかったんだろう。大切な人は、いつまでも私の側にはいてくれないと言う事に。それにもっと早く気がついていたら、こんなに早くおばさんが死んでしまうと言う事がわかっていたら、もっとおばさんに手紙を書いたり、電話をかけたかしていたのに。私は今も、その時のくやしさを、そして後悔を、わすれる事は出きません。

今、この瞬間にも、世界のどこかでだれかが死に、だれかが大切な人を失ない、泣いてい

るかもしれません。そう思うと、今、側に愛するだれかが  
元気に生きているのは、どんなにすてきな事でしょう。だから私は思います。その人が一度死  
んでしまったら、どんなに後悔しても、あともどりは  
できません。だから今、その人が生きている事に感謝し、どんなに  
いそがしくても、その人と時どき連絡したり、会って話したりして、思い出をたくさん作るべ  
きだと思います。そうするときと、その人がいなくなった  
後の後悔も、すこしは少なくなるでしょう。私はそう信じて生きて行きます。  
だから皆さんもぜひ、愛するだれかを、そして、その人と一しょに過ごす  
時間を、大切にしながら生きて下さい。

私が経験した日本人の優しさ

Joyce Lai

私達の社会は毎日変わって行くので、その中で人と人との距離もだんだん広がって行くと思います。混み合った町には一軒家よりアパートが多いです。皆、いつもやり終える事が出来ないほど仕事があつて、家族や友達と一緒にいられる大切な時間は気が付かないうちにどんどん消えていってしまいます。私は十五才で初めて一人でバンクーバーへ来て、ホームステイをしていた時、ステイ先で会った日本人の友達の友希子さんにとっても温かい優しさを感じました。それがきっかけになって、私は日本の事が大好きになったんだと思います。

友希子さんと出会った時、私はちょうど高校一年生でした。友希子さんは東京の目白学園の交換学生として一年ぐらいカナダに来ていました。私より少し年上でしたから、いつも私のお姉さんみたいにいろいろな事を教えてくれました。友希子さんは独り娘なのに、料理や掃除や洗濯など家事が何でも出来ました。洗濯物はたいていホームステイマザーがしてくれましたが、友希子さんは私がいないうち、私の服を全部ていねいにたたんでくれていました。恥ずかしくなっていた時、友希子さんは私に「初めてジョイスの様な妹が出来て、とても嬉しいの。だから、そんな事、気にしないで。」と言ってくれました。私はそんな友希子さんの優しい所に感動して、心から感謝しました。

友希子さんだけではなく、同じ学校から来ていた日本語の岩本先生もいつも私を支えてくれた大事な人でした。岩本先生はとても親切で、素敵なお女性だと思いました。悩み事がある時、私は必ず先生に相談しました。本当に頼りに出来る先生でした。ある日誰かが先生に聞きました。「どうして皆にこんなに優しいんですか。」先生はこう言われました。「私は皆さんにとって学校の中ではお母さんみたいなものなんですよ、皆さんは私にとっては自分の子供と同じですから、一生懸命、気持ちを分かってあげなければいけないと思っているんですよ。」

友希子さんと岩本先生は二人とも日本に戻りましたが、私達の友情は永遠に繋がっていると思います。この二人の日本人との出会いは素晴らしい思い出になりました。あのころ二人から教えてもらったいろいろな事は絶対に忘れません。それは私の一生の宝物です。またいつかどこかで二人に会いたいと思っています。

友希子さんと岩本先生に最後に会った時からもう四年になりますが、その間、ずっとメールで連絡をし合っています。ある日、友希子さんがこんな事を言ったのを憶えています。「遠くにいて、なかなか会えないんだから、もっと努力して、友情を守っていかなければね。」日本には「一期一会」と言う古い言葉があります。一度でも会った人であれば、一生その人の事を心に思っていて大切にするとする意味です。私はそんな日本の昔からの伝統が友希子さんや岩本先生の中に今でも生き続けているんだなと思いました。私もそんな優しさをいつまでも忘れない

人になっていきたいです。

## 韓国の夜の文化

Jin Lee

「ソジュ一杯飲もうよ。」韓国の人達はこの言葉をよく使います。ソジュとは日本でいう焼酎の事です。友達や同僚と楽しい時間を過ごすため、人を慰めるため、家族の仲を深めるため、そして、社交関係を強めるために使う誘い言葉が「ソジュ一杯飲もうよ」なのです。

韓国には多くのバーやパブがあり、どこのバーやパブでも安くおいしい食べ物、そして、ソジュを飲む事が出来ます。カナダではソジュの価格は10ドルから15ドルぐらいですが、韓国ではカナダドルで、1ドルから3ドルぐらいです。

韓国の若者の間には、バースデードリンクという特別な飲み物があります。これは、女性より男性の間でよく飲まれます。誕生日を迎える人は毎年、ソジュとビールを混ぜた飲み物を飲む習慣があります。その上、時には、キムチ、わさび、汚い靴下、そして、誕生日に貰ったクレンジングフォームなどを入れる事もあります。バースデードリンクに決まりはなく、なんでも入れる事が出来ます。

毎晩、ソウルでは黒いジャケットを着た男の人をよく見かけます。彼らは、ナイトクラブのウェイターで、ナイトクラブへ行く女の人を探しているのです。韓国のナイトクラブでは、男の人が入場料や食べ物、飲み物などのお金を払うので、女の方は全て無料で楽しむ事が出来ます。そして、ナイトクラブに入ると女性、男性に別れて別々に座ります。その後で、ウェイターが女の方の所へ行き、女の方を男の方のテーブルに連れて行き、紹介します。これを韓国では、ブッキングといいます。それは簡単に思えますが、ウェイターにとってはすごく大変な事なのです。なぜなら、ウェイターは女の方が移動したくなくても無理やり男の人が座っているテーブルに連れて行かなければならないからです。女の方は一度テーブルに座って、もし男の人が気にいらなければ、直に断って違うテーブルに行く事が出来、そして、気に入った人が出来るまで同じ事を繰り返す事が出来ます。最後に女の方は気に入った人と一緒にお酒を飲んで楽しむ事が出来ます。

この前、私は韓国のナイトクラブについて日本人の友達と話をしました。私が友達に「韓国のナイトクラブをどう思う。」と聞いた時、二つの違った意見を聞く事が出来ました。友達の一人は、「日本では、知らない異性の人と話すチャンスがあまりないから、もし日本に韓国の様なナイトクラブがあったら、とても人気がでると思うよ。」と言いました。他の友達は、「日本では、お酒が高くて、もし男の人が女の方の分のお金まで払うと、とても高くなるから、あまり人気でないかな。」と言いました。しかし、私は女性ですから、バースデードリンクを飲む必要がないし、ナイトクラブにもただで行けるから、私は韓国の夜の文化が大好きです。誕生日に韓国のナイトクラブに私と行きたい人はいませんか。

世界のこの見方

Claire Chun

皆さんはオードリー・ヘプバーンのようにきれいになりたいとか、パリス・ヒルトンのようなお金持ちになりたいと思ったことがありますか。オードリー・ヘプバーンは子供の時、自分が醜いと思っていて、大人になっても、自分の鼻の穴が大きすぎると感じていたそうです。また、パリス・ヒルトンは“お金はいつも足りない”と言ったことがあります。オードリー・ヘプバーンほどきれいな人も自分の顔に満足できなくて、パリス・ヒルトンほどのお金持ちも自分のお金が足りないと言句を言うなら、一般人である皆さんや私が全然言句を言わないで生きられるでしょうか。

私はよく言句を言います。例えば、背がとても低いので、高い所にある物が取りにくいなど、色々不便なことがたくさんあります。それに、他の人に見下されているように感じることもあります。よく“どうして私は脚がこんなに短い。もっと脚が長かったら、きれいなドレスなども着られたのに。”と思いました。他にも、宿題や試験やレポートがたくさんあるし、毎日しなくてはいけないことが多すぎるので、いつも疲れていて、私がしたいことをする時間が全然ありません。特に、漢字は複雑な物だから、覚える時、時間がたくさんかかるし、同じ字を何度も書かなければ、なかなか覚えられないので、難しく、つまらないです。でも、人生には、したくなくても、しなくてはいけないことがたくさんありますね。

でも、そんな時、メリーポピンズが私のためにかさを持って、部屋に飛んで来てくれるんです。メリーポピンズは自分が世話する子供達に始めて会った時、めちゃくちゃになっている子供たちの部屋を見て、言いました。“しなくてはいけないいやなことには楽しいこともあるのよ。楽しいことを見つけたら、ジャジャン！仕事はゲームになるの”。そして、掃除をゲームに変えてしまいました。メリーポピンズは私のために、漢字もゲームに変えてくれます。例えば、友達と一緒に漢字を勉強しながら、誰が速く覚えられるかゲームをしたり、習いたての漢字を使って、面白い例文を作ったり、しています。すると勉強はしたくないことから、面白いこと、楽しいことになったのです。私にとって、日本語は一番面白い勉強です。漢字は嫌いでも、日本語に絶対必要な物だから、漢字を勉強する時、好きなことができるのは幸せだということを思い出させてくれるのです。

多くの方は幸せじゃないから、幸せになりたがっています。幸せじゃないのは自分の条件に満足して、ありがたいと感じないで、自分が持っていないことや気に入らないことだけ考えて、惨めに感じたりするからなのではないでしょうか。否定的な考えは沼のような物だから、一段、考え始めると、悪いことばかり考えて、初めはあまり悪く見えなかったことでも、悪く見えてきます。そうすると、大事な仕事がうまくできないし、周囲の人達との関係も悪

くなります。状況は変わりません。しかし、そんなことについての考え方は肯定的に変えることができます。私は背が低いからこそ、歳より若く見えるし、子供の服を安く買って、お金をためることができます。文句を言う代わりに、自分のことを肯定的に見るようにすれば、喜べることが多いはずです。私や皆さんの文句は、結局は、オードリーの鼻やパリスのお金のような物なのかもしれないですね。



忘れられない贈り物

SeHee Ham

皆さんはどんなときに贈り物をもらったり、送ったりしますか？

そして、贈り物は皆さんにとって、どんな意味を持つものだと思いますか？

私は昔「いい贈り物は何だろう？」と思った時、相手にとって必要で実用的な物が一番いいと考えていました。

でもある日、友達からひとつの贈り物をもらって、そのから一番いい贈り物は実用的な物ではなく、相手のことを思う気持ちが伝えられるものだと思うようになりました。

私は今までもらった贈り物の中で一番嬉しかったのはスーという友達からもらった童話の本です。スーさんは小学校3年生の時から親友です。

こどものときからお互いによく手紙を書きまして、今でもその時書いた手紙を全部持っています。その手紙にはお母さんやほかの友達には相談できない悩みや秘密などの私たちの思い出が書き込まれているのです。彼女は昔から絵がとても上手で、童話作家になるのが夢でした。だから文字だけでなく絵からも伝わってくる彼女の気持ちはいつもわたしの心を温かめ手くれました。

最近はお互い学校生活が忙しくて1年近く連絡ができませんでした。彼女のことが気になっていたところ、彼女から長いメールが届きました。メールを読み続けながら、もしかして私が連絡をしなかったことに怒っていたらどうしようと心配していましたが、彼女はそんな私に「私の友達でいてくれてありがとう」と言ってくれました。そして彼女が連絡できなかったのは私たちの特別で大切な友情の話を素材として童話の本をつくっていたからだと教えてくれました。しかも一年前、大学卒業の作品として私たちの話を童話の本として出したものが1位になって、その本が正式な本として出版されるということもしてくれました。その話を聞いた私は涙を流してしまいました。

頼まれるとこのなかった思春期の少女が心の温かい一人の友達に会ってからのお話でした。二人での交わした手紙、お互いを思う気持ちでつらかった時は美しい思い出に生まれ変わったという、私たちの話でした。

彼女はメールの終わりに彼女のつらかったかもしれない幼い時を温かくしてくれてありがとう、そして夢をかなえていくのに大きな力になってくれてありがとうと言いながらメールを終えま

した。私がもらった私と彼女の思い出がこもっているその童話の本は一生忘れることのできない私の人生最高の贈り物です。彼女が私のことを思う気持ちを本で書いて私に伝えてくれたように今日の私の speech も彼女に伝わることを祈っています。

ご清聴ありがとうございました。

祖父の言葉

Miriam Matejova

皆さん、こんにちは。私はマテヨバ・ミリアムと申します。  
私は色々な外国語を話せますが、以前は、外国語を話す目的が分かりませんでした。しかし、最近はその目的が分かってきました。そこで、今日は外国語を話すことの目的についてお話ししたいと思います。

私の祖父は、「たくさんの外国語が話せると、色々な人になれるぞ!」とよく言っていました。私は子供の時、外国語が下手で、勉強することが好きではなかった。祖父の口癖があまり理解できませんでした。

ヨーロッパに比べるとカナダでは、外国語があまり重視されていないと思います。私はスロバキア人で、学校では、ドイツ語、ラテン語、英語、ロシア語、そしてフランス語を習いました。私は、様々な外国語を勉強していくうちに、前よりもっと外国語が好きになりました。そして、外国語を通して世界中の人々とその文化や習慣を理解出来るようになった事がわたしの誇りになりました。

三年生の日本語を勉強し始めた時、私は、祖父の言葉の意味がようやく分かってきたのです。私は、日本語を話すときは、日本人のようになって、会釈をしたり、丁寧な態度をとっていることに気づきます。

しかし、ほかの外国語を話す時の態度は、少し異なっています。例えば、私は普通あまり社交的にほうではありませんが、ロシア語を話す時は、ロシア人のようになって陽気な人間になります。

たくさん外国語を話すことができるようになったので、私は色々な文化を理解して、多くの国訪れることを決心しました。そして、現在は、カナダで英語を話しながら新しいチャレンジをしています。このように、外国語を勉強することが自分の人生を大きく変えました。

現在、世界はとても相互依存が深まっているので、いろいろな外国語や文化を勉強することがとても大切だと思います。私は、緒方貞子さんやマザー・テレサのように、色々な外国語を話し、世界中の人々のために役立っている人をととても尊敬しています。私は、大学で国際学を勉強していて、将来は国連で働き、貧しい国の人々のために仕事をしたいと思っています。

皆さん、外国語を勉強すると、様々な国の文化の習慣や考え方が分かり、人々もよく理解することができます。私は、これが外国語を話す大事な目的だと思っています。ですから、私は、もっともっと外国語を勉強して、新しいチャレンジをし、たくさんの人々を助けていき

たいのです。

最後に、わたしのスピーチを聞いて下さって、ありがとうございました。

急成長！ オタク産業

Kate Kyungmin Lee

こんにちは。皆さんは「萌えー」という言葉をご存知ですか。私が初めてこの言葉を聞いたのは「電車男」という日本のドラマを見た時でした。あるアニメディア雑誌の解説によると「萌えー」というのはマンガ、アニメ、ゲームなどのキャラクターに熱中している人の態度や状態をいうんだそうです。つまりオタク用語のひとつです。オタク用語が生まれるほど成長している、このオタクブームについて今日はお話ししたいと思います。オタクというのはもともと「ほかの人の家」という意味の敬語だったんですが、カタカナで書かれた場合は一般的にゲーム、アニメ、パソコンなど一つの分野にはまっている人、またその熱狂的な若者集団をさします。

オタクの存在が世の中に大々的に知られるようになったのは、1980年代後半から90年代前半にかけて起こった、日本の犯罪史上でも類を見ない2つの事件がきっかけでした。皆さんもご存知の、宮崎勤事件とオウム真理教事件です。宮崎勤は極度のアニメオタクであり、またオウム真理教にはオタクの信者がたくさんいたことから、オタクイコール悪者というイメージが日本社会の中に広がりました。そして90年代にオタクという言葉がNHKの放送禁止用語とまでなりました。

このようにオタクは日本社会の悪者でしたが、アニメ「新世紀エヴァンゲリオン」とドラマ「電車男」の登場で、そのイメージが一変しました。

アニメ「新世紀エヴァンゲリオン」を生み出した庵野秀明と言う人は自分自身もオタクであり、この映画の中で人間疎外や孤独を主題として取り上げ、一人だけの世界に閉じこもっているオタクに社会に帰りなさいと叫びかけました。彼は孤立したオタクではなく社会に受け入れられるようなオタクになろうということを強く主張したのです。

その後、2006年に放送されたドラマ「電車男」では、内向的でぜんぜんもてないオタク青年が地下鉄で一目ぼれした女の人に愛を告白するために孤軍奮闘するラブ・ストーリーですが、このオタク青年の純粋で誠実な行動は多くの人を感動させました。

それまであまり大きくなかったオタク・マーケットですが、オタク聖地と呼ばれる秋葉原を中心に池袋、そして地方都市・長野などでもオタク関係のお店がずいぶん増え、新しいオタク地方文化が誕生したことで、そのマーケットは徐々にそして確実に拡大しつつあります。あるメディアニュースによると、最近では秋葉原だけでなく長野にも外国人オタクがたくさん訪ねて来ているそうです。また、私のフランス人の友達が教えてくれたんですが、フランスでは日本のアニメ、特にドラゴンボールがすごい人気で高い視聴率を上げているそうです。日本のアニメにはまって、自分をオタクと呼んで欲しいと願っている人もいると言っていました。インターネットで検索してみたら英語による日本のアニメについてのウェブサイトが数え切れないほどありました。こんなふうにソ

フト・パワーで世界の若者を魅了するこの新しいオタク文化は、世界を巻き込みつつあります。それと同時に、社会の底辺で、社会になじめなかった若者たちにも勇気と元気を与えました。これはかつてなかった社会現象なのではないでしょうか。

それに、この新しい文化は、日本の経済にも影響を与えつつあると言えます。ゲーム産業の調査会社の「オタク産業白書2008」によるとオタク産業の規模は徐々に大きくなって、現在約1868億円だそうです。そして、一番興味深いのは、オタク産業の特徴の一つでオタク・ショップがオタクによって運営されているものもあるという点です。これはアメリカの有名な社会学者のアルビン・トフラーが予想した生産者と消費者が結合したプロシューマーのいい例で、こんなふうに確実に成長しているオタク・マーケットは今後も日本の経済にますます影響を与えていくでしょう。

ところでこうしてオタクのことを話している私のスピーチも実はオタク特有の”萌え一要素”をたっぷり含んでいたことにお気づきだったでしょうか。もし、みなさんがこのスピーチでオタクの存在に対しての印象が少しでもポジティブになったら、もう一歩進んで自分の“萌え一要素”を探してみたらいかかでしょうか。

ご清聴どうもありがとうございました。

日本文化の多様性

Drew Wallin

皆さん、今日は日本の社会について私が観察したことをお話ししたいと思います。どの社会にもいろいろ特徴がありますが、私にとって興味深いのは日本の集団主義です。カナダの社会で生まれ育った私にとって集団主義というのはちょっと不思議な概念です。なぜならばカナダでは、子供のころからずっと個人の重要性が強調され、自分の意見を言えるように、自分だけのアイデンティティーを作るように教育するからです。だからカナダ人は日本の社会を見て、必要以上に残業した後、仕事の仲間と一緒に飲酒したりするサラリーマンなどを見て驚きます。日本人はいつもグループで行動するから、個人はあまり創意のない民族だと思われがちです。私自身も前は同じように感じていました。

小学校三、四年生の頃北海道の大滝村という小さな村に住んでいました。大滝小学校に通い始めてすぐ、部活動を初めて経験しました。カナダでも部活やスポーツクラブはもちろんありますが、日本のように学生たちは必ず部に入らなければならないことはありません。先生に「なぜ部に入らなければならないんですか？」と聞いたら先生は答えに困って、「とにかくみんなが部に入るからドゥルーも入りなさい！」と先生に怒られてしまいました。また、日本語を勉強し始めてから、日本語にたくさんの決まり文句があることに気づきました。贈り物をしたりするときと言う「つまらないものですが、どうぞ」、お葬式のときに言う「このたびはご愁傷さまです」などのような決まりきった文句が日本人の行動パターンをそのまま反映していると思いました。

ただし、日本人の団体行動だけ見て、日本人を多様性のない国民だと決め付けるのは大きな間違いです。私の観察した限りでは、日本はひとつの民族なのに、多民族国家のカナダよりもむしろサブカルチャーが多くて、とても盛んです。例えば、最近世界中の人、特に若者に注目されている、日本のポップカルチャーの一つと言われている日本の「オタク」がそのいい例だと思います。

日本のテレビ番組によるとオタクというのは趣味に夢中になる、人生を楽しむために好きなサブカルチャーにのめり込む、プラスな思考を持っている人のことを言うそうです。オタクはたった一つの種類だけではなく、いろいろあって、主に十二種類に分けられています。例えば電車が好きなオタク、つまり「鉄道オタ」、と漫画が好きなオタクは違う種類に入ります。またその十二種類の中でももっと細かい分類があります。例えば鉄道オタは電車に乗るのが趣味の「乗り鉄」と、電車の写真を撮る趣味を持つ「撮り鉄」などです。つまり、オタクというのは一つのグループではなく、様々なグループを指しているわけです。

実は、日本のサブカルチャーは最近、突然現れたものではありません。例えば、敗戦後の

日本では若者の行動に急激な変化がありました。1950年代から若者は集団を作り始めて、そのグループには「族」という名前が付けられました。新しく生まれたこの族というのは若者の自由の象徴になりました。つまり彼らは当時の社会においては全く異質な存在でした。それまで親や社会が決めた道を歩いていた若者達が、暴走族、エレキ族、サイケ族など自分の好きな音楽や生き方を選んで参加できるようになりました。そして、このような若者によって作られた、それぞれ特徴あるグループが大きな原動力となり、絶えず変容を続ける日本の社会に大きな影響を及ぼしたと思います。

日本人は表面的には、団体で行動しているので、型にはまったことしか出来ないと考えられがちです。しかし、むしろ団体に入っているおかげで、個人の創造性がグループの中で注目され、また、その能力が認められ、回り助けられながらのびのびとそれを発揮することができるのではないかと思います。つまり、このような集団主義があるからこそ、日本ではとてもユニークで、しかも、多様な文化が生まれているのです。

子供のとき日本の学校の部活への参加を拒否した、個人主義の中で生きてきた私は、日本のこの集団のパワーをとともうらやましく感じます。将来ぜひ日本のアニメーターなどのような個性がある、しかも社会を変えていく力のあるグループに入って、その集団のパワーを身を以って感じてみたいと思います。

どうもありがとうございました。



ニート ～批判より尊重を～

Kelly Liang

「ニートなんて、無気力、無能力な人間のことで、ふざけたやつがほとんどだよ」とある知事が言いました。これは、日本での代表的なニート認識であり、皆さんの中にあるニートのイメージにも最も近いのではないのでしょうか。高校生の時、私も、「日本のニート、ちゃんとしなさい!」と訴えようと、このスピーチコンテストに参加しました。二年前、ニートにぴったり当てはまる大学の先輩と出会いました。本当にやりたい仕事を見つけるまで親と共に生活している彼女は、この国ではニートと呼ばれません。先輩のそんな自由自在な生き方に、憧れに近いものを覚えつつ、自分のニート像に戸惑いを感じました。去年、ある日本語のコースをきっかけに、私はニートの由来について真面目に考え始めたのです。

そもそも、ニートという言葉は、英国政府が用いた、義務教育終了後、就職もせず、職業訓練にも受けていない若者の失業者を意味する学術用語です。日本では、以前、パラサイト・シングルや引き籠もりなど、若者のライフスタイルを問題視する言葉が大ブームになりました。そこで、新たな流行語を作り上げるため、マスコミは2004年ニートキャンペーンに乗り出しました。現在、ニートは失業者ではなく、親に寄生する労働意欲のない若い負け組という差別めいた言葉として定着しています。この三年間、ニートは社会秩序を乱す存在だと煽るテレビ番組や、子供をニートにしないための本などが次々とヒットし、マスコミにとって、ニートは大きなお金のなる木となっています。

ニートが流行語となったことによって、利益を得たのはマスコミだけでしょうか。私の考えでは、利益を得た集団がもう一つあります。それは、企業経営者たちです。2003年、日本政府は世論に耳を傾け、若者の就業問題の最大な原因は雇用側にあると指摘し、企業に雇用制度の見直しを求めました。しかし、翌年「ニート」の登場によって、世論は「働こうともしてないから、やはり若者の問題は自己責任だ」という方向へ運ばれ、政府の呼びかけが水の泡になってしまいました。つまり、ニートキャンペーンを通じ、就業問題の責任が雇用者から労働者に転嫁され、雇用者である企業経営者たちは、漁夫の利を占めたのです。そして、ニートの若者の求職申し込みに対し、無能力で無気力でふざけたニートだったことを理由に、企業はより簡単に不採用を出せるようになってきています。家に引き籠もっても、家族に嫌われますし、社会に再挑戦しても、企業に断られます。このような断崖絶壁に立たされた若い失業者たちは、果たして社会の底辺から這い上がれるのでしょうか。

マスコミは最初、流行語を作るため、「ニート」を日本に送り出したかもしれませんが、この計画によって苦しんでいる若者や、ニートのいう隠れ蓑の下にある雇用問題などは、ただのお茶の間の話題ではすみません。学生の皆さんがこれから卒業し、社会で躰いた時、教育関係

者の皆さんがかつての教え子の不遇を聞いた時、どうか、日本のニートと、最初に紹介したカナダのニートのことを考えてみてください。そうすれば、失業者たちを批判するのではなく、彼らを尊重することこそが必要だと気付くはずです。ニートはふざけたやつらかもしれませんが、真にふざけているのはその背後にいるマスコミとマスコミに洗脳されがちな私たちではないでしょうか。